

整備優先順位の高い地区へのヒアリング調査について (高山地区と菜畑地区)

整備優先順位の高い6地区（鹿ノ台、高山、真弓、北田原、桜ヶ丘、菜畑地区）における公共交通サービスの提供に向け、地域特性に応じた対策案を検討するために、特に優先度が高いと判断した2地区（高山、菜畑地区）においてヒアリング調査の実施を進めている。

1. 高山地区における地元ヒアリング調査

1.1. 調査概要

高山地区は広範囲であるため、高山地区内の自治会ごとに公共交通の利用実態や公共交通サービスに対する意見等を把握した上で、各地域の特性に合わせた対策案を検討する必要がある。そのため、高山地区内の7自治会（傍示、獅子ヶ丘、庄田、大北、宮方、久保、芝）を対象に、ヒアリング調査を実施した。

高山地区における地元ヒアリング調査の概要を以下に整理した。

表 1-1 地元ヒアリング調査概要

調査目的	高山地区内の公共交通の利用実態、今後の公共交通サービスに対する意見や住民側の協力意向を確認する。
調査対象者	高山地区内の7自治会（傍示、獅子ヶ丘、庄田、大北、宮方、久保、芝）の自治会長、老人クラブ会長、民生委員 ※高山地区は広いため、自治会ごとにヒアリング調査を実施
調査方法	自治会ごとに、調査対象者を集めた上で対面ヒアリングを実施 ※対面以外での実施を希望された方、ご予約の合わなかった方には、電話やメール等でヒアリング調査を実施
調査時期	令和3年8月17日～ ※現在実施中

表 1-2 ヒアリング調査の参加者及び調査方法

地区名	参加者	調査方法
傍示	-	-
獅子ヶ丘	・自治会長	メール ※調査実施中
庄田	・自治会長 ・老人クラブ会長 ・民生委員	対面
大北	・自治会長	対面
	・老人クラブ会長	電話
宮方	・自治会長	電話
久保	・自治会長 ・自治会副会長 ・民生委員	対面
芝	・自治会長 ・老人クラブ会長 ・民生委員	対面

1.2. 地元ヒアリング調査結果

地元ヒアリング調査における調査項目、調査結果のまとめを、以下の通り整理した。

(1) ヒアリング調査項目

調査項目	設問
各自治会における公共交通の利用実態	路線バスを利用する住民が多い地域
	路線バスを利用した移動で不便と感じる点
	自宅からバス停まで遠いため、路線バスを利用できない地域
	周りに送迎してくれる人がいないため、外出を諦めることになる住民が多い地域
今後の公共交通サービスの導入	助け合い輸送の導入可能性について
	今後の公共交通サービスへの自治会による協力意向

(2) ヒアリング調査結果

いずれの自治会（庄田、大北、宮方、久保、芝）においても、公共交通の利用実態及び今後の公共交通サービスについて共通の意見が得られたため、自治会ごとではなく、高山地区全体の結果として整理した。

公共交通の利用実態	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの自治会（庄田、大北、宮方、久保、芝）においても、現状は路線バス等の公共交通を利用することが少なく、マイカーや家族等による送迎によって移動することができる。 ・路線バスを利用できない主な理由としては、自宅～バス停の距離が離れていること、バス停から自宅までの坂道が大変であること、運行本数が少ないこと、帰りの便と時間が合わないことが挙げられた。
今後の公共交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの自治会（庄田、大北、宮方、久保、芝）においても、現状はマイカーや家族等による送迎によって移動することができるため、デマンド型乗合タクシー等の公共交通サービスを早急に導入する必要はない。 ・助け合い輸送については、安全面やドライバー確保の面で実現は難しい。 ・各自治会として、現状は移動に困っていないと思われ、公共交通サービスの導入に向けて協力することが難しい。

1.3. 今後の対応方針

生駒市地域公共交通計画において、高山地区は、75歳以上の人口が多く、自宅からバス停や駅まで離れており、令和2年度住民アンケート結果より公共交通サービスを求める意見が多いため、整備優先順位が高い地区としていた。

しかし、高山地区内の各自治会にヒアリング調査を実施した結果、現状ではマイカーや家族等による送迎があるため、日常生活における移動に困っていないと思われ、公共交通サービスに対する地元住民からの強い要望がないことが明らかになった。

そのため、高山地区の各自治会において、早急に整備を進める必要性は高くなく、各自治会における活動機会の保障状況を定期的を確認しながら、整備時期の検討を進める必要がある。また、本ヒアリング調査は各自治会の代表者のみを対象としていたが、日常生活における移動に関する実状を把握するために、子育て世代の母親等の地元住民からの意見を得る機会を設けることも検討する。

2. 菜畑地区における地元ヒアリング調査（調査準備段階）

2.1. 調査概要

菜畑地区において実施予定の地元ヒアリング調査の概要を以下に整理した。

調査目的	菜畑地区内の公共交通の利用実態、今後の公共交通サービスに対する意見や住民側の協力意向を確認する。
調査対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会長 <ul style="list-style-type: none"> ※地区内に民生委員がおらず、老人クラブも無いため ・ 地区内の戸数が少ないため、各戸への調査票配布も検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 菜畑町 39 世帯（R3.7 時点）
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対面ヒアリング <ul style="list-style-type: none"> ※新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、電話ヒアリングまたはアンケート調査票での依頼も検討 ・ 各戸への調査票配布 <ul style="list-style-type: none"> ※調査票は、令和2年度住民アンケート調査結果分析の深度化、今後導入する公共交通サービス案に関する自治会長へのヒアリング調査結果等を踏まえて作成
調査時期	令和3年9月中旬以降に実施予定

2.2. 令和2年度住民アンケート調査結果（菜畑地区）

自治会長へのヒアリング調査に向けて、菜畑地区における今後の公共交通サービス案を検討するために、令和2年度住民アンケート調査の菜畑地区の結果（日常生活での移動状況や公共交通サービスへの意見等）について分析の深度化をおこなった。

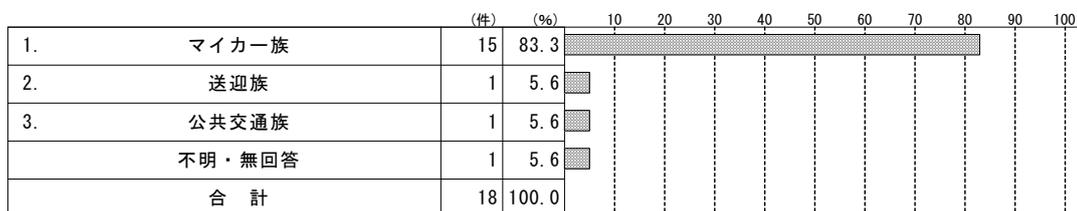
周りに送迎してくれる人がいない/いなくなった場合に移動が困難となる送迎族や公共交通族が、今後の公共交通サービスを利用することを想定して、送迎族と公共交通族の結果についても整理した。

令和2年度住民アンケート調査の分析結果を、以下に示した。

※ マイカー族：運転免許を持っており、自由に使える車を持っている人
 送迎族：運転免許を持っていても、自由に使える車を持っていない人や運転免許を持っていない人で、気兼ねなく送迎を頼める人
 公共交通族：運転免許を持っていても、自由に使える車を持っていない人や運転免許を持っていない人で、気兼ねなく送迎を頼むことができない人

(1) 回答者数

菜畑地区における全回答者18件のうち、約8割（15件）はマイカー族であり、送迎族や公共交通族は各1件であった。



(2) 主な移動先や公共交通に対する意見（全回答者）

日常生活（買い物・通院）における主な移動先や移動時間帯、公共交通に対する意見について、菜畑地区の全回答者の結果を整理した。

※本資料 P.10 に掲載

(3) 主な移動先や公共交通に対する意見（送迎族・公共交通族）

日常生活（買い物・通院）における主な移動先や移動時間帯、公共交通に対する意見について、送迎族と公共交通族の回答を以下に整理した（※それぞれ回答数1件のみ）。

《送迎族》

買 い 物	主な買い物先	近商ストア新生駒店 (利用頻度：週に2~3回程度、移動手段：たけまる号)
	移動で不便を感じる点	特に不便を感じることはない
	普段到着する時間帯	特に決まっていない
	本来到着したい時間帯	日中ならいつでも
	本来行きたい買い物先	※不明・無回答
通 院	主な通院先	阪奈中央病院（月に1回程度）
	移動で不便を感じる点	特に不便を感じることはない
	本来行きたい通院先	特になし
駅までの移動で不便な点		自宅から駅行きのバス停までの坂道が急
外出諦めの有無		諦めたことなし
新たな公共交通サービスの導入が必要かどうか		※不明・無回答

《公共交通族》

買 い 物	主な買い物先	普段、買い物のために外出しないため、回答なし
	移動で不便を感じる点	
	普段到着する時間帯	
	本来到着したい時間帯	
	本来行きたい買い物先	
通 院	主な通院先	近畿大学奈良病院（月に1回程度）
	移動で不便を感じる点	※不明・無回答
	本来行きたい通院先	※不明・無回答
駅までの移動で不便な点		※不明・無回答
外出諦めの有無		諦めたことあり
新たな公共交通サービスの導入が必要かどうか		わからない

(4) 分析結果まとめ

菜畑地区の全回答者と送迎族・公共交通族の主な回答結果を、以下に整理した。

<p>菜畑地区 (全回答者)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主な買い物先は生駒駅周辺で、普段の到着時間帯は午前中(8:00-12:00)と夕方(15:00-18:00)が多い。本来到着したい時間帯は、午前中(8:00-12:00)が多い。 ・主な通院先は近畿大学奈良病院や阪奈中央病院である。 ・周りに送迎してくれる人がいないことで外出を諦めた割合が高い。 ・新たな公共交通サービスの導入を求める意見が多い。
<p>菜畑地区 (送迎族)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主な買い物先は生駒駅周辺で、普段の到着時間帯は特に決まっておらず、本来到着したい時間帯も特にない。 ・主な通院先は阪奈中央病院である。 ・周りに送迎してくれる人がいないことで外出を諦めたことはない。 ・新たな公共交通サービスの導入を求める意見も得られなかった。
<p>菜畑地区 (公共交通族)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・普段、買い物のために外出しないため、主な買い物先や到着時間帯、本来到着したい時間帯はない。 ・主な通院先は近畿大学奈良病院である。 ・周りに送迎してくれる人がいないことで外出を諦めたことはある。 ・新たな公共交通サービスの導入を求める意見は得られなかった。

2.3. 今後の対応方針

令和2年度住民アンケートより、菜畑地区と生駒駅周辺の間移動手段が必要であることが確認された。しかし、公共交通サービスを今後利用することが想定される送迎族と公共交通族からは、新たな公共交通サービスを求める意見が得られなかった。

ただし、菜畑地区の回答者数は18件と少なく、送迎族と公共交通族の回答も各1件のみであることから、今後実施する自治会長へのヒアリング調査において、住民の主な移動先や移動時間帯や公共交通サービスの必要性を確認した上で、今後の公共交通サービス案の検討を進める必要がある。

(参照) 令和2年度住民アンケート調査結果 (菜畑地区の全回答者)

令和2年度住民アンケートにおける主な結果

買い物		
主な買い物先 (上位3箇所) N=16 	主な移動手段 (上位3つ) N=16 	移動が不便と感じる割合 N=18
買い物先に普段到着する時間帯 N=8 	買い物先に本来到着したい時間帯 N=6 	本当は行きたい買い物先 (上位3箇所) N=4 <p>特になし: 1件 不明・無回答: 3件</p>

通院		
主な通院先 (上位3箇所) N=11 	主な移動手段 (上位3つ) N=11 	移動が不便と感じる割合 N=11
本当は行きたい通院先 (上位3箇所) N=11 		

駅までの移動で不便な点	生駒市全体との比較
自宅から駅行きのバス停まで遠い	23.5 (+10.5)
自宅から駅行きのバス停までの坂道が急	17.7 (+11.0)
駅行きのバス運行本数が少ない	17.7 (+12.2)
駅行きのバスが運行していない	5.9 (+1.9)

外出のあきらめ	生駒市全体との比較
外出をあきらめた割合	23.1 (+7.4)

外出をあきらめた理由	生駒市全体との比較
天候のため	66.7 (+39.5)
身体的な事情のため	33.3 (+18.9)
車で送迎してくれる人がいなかった	0.0 (-12.6)
利用できる公共交通手段がなかった	0.0 (-3.7)

路線バスの利用	生駒市全体との比較
路線バスを利用しない理由 (上位3つ)	
家からバス停まで歩くことが大変だから	75.0 (+29.7)
早朝に運行していないから	12.5 (+6.8)
深夜に運行していないから	12.5 (+5.0)

新たな公共交通サービスの導入が	生駒市全体との比較
早急/将来的に必要なと感じる割合	69.2 (+19.6)

バス停まで歩くのが大変な理由 (上位3つ)	生駒市全体との比較
家からバス停まで遠いから	100.0 (+22.9)
買物の荷物などが重いから	33.3 (+11.5)
体力が落ちてきたから	16.7 (-12.5)